

### 澤崎正義議員



#### 中期の主要事業は

議員 第8次立山町総合計画の前期に実施できなかった事業があるが、中期(16、18年度)の主要事業は、町長(仮称)総合福祉会館施設は、現在進めている農村振興基本計画作成のなかで、健康づくり拠点施設と情報発信の複合施設として位置づけできないか検討している。

#### 地場産材の活用は

議員 戦前戦後に植林された木材がある。今後、公共施設や町営バス停・公共トイレ等に活用できないか。農林課長 地域材の利用促進は地域の健全森林育成を図るうえで重要な課題であり、近年では四谷尾自然ふれあい館などに使用した。公共事業では、間伐材の利用等施設の新築及び改修工事に出来る限り地場産材を利用するよう検討中である。



立山山麓森林組合加工場(下地内)

議員 立山町の最近の失業状況と中小企業の労働条件の現状は。商工観光課長 町だけのデータは特定できないが、求職者に情報の提供をしている。長時間労働や賃金不払については指導する権限がないが富山労働局と連携して啓発に努めたい。

### 村田 昭議員



#### 観光大使は

議員 山岳観光、中山間地観光、平坦地観光の連動性、方向性は。また東京立山会のメンバーに「立山町観光特別大使」のような役割は。町長 平成15年町の観光客の入り込みは、通過型または日帰り合せて200万人弱である。滞在なしでは観光地とは言えないと考える。中山間地観光やグリーンツーリズムを推進し、農家民泊により滞在型の観光を進め、また平坦地では、タウンツーリズムが可能かどうか調査する。東京立山会の皆様に我が町のPRをしていただければ大変ありがたいので「観光特別大使」をぜひ実現したい。



東京立山会の皆さん

#### 中心市街地活性化は

議員 TMO構想の今後の予定は。また町の中にコミュニケーション施設を設けられないか。

五百石公民館に町民サロンを

商工観光課長 学識経験者や、商工会・住民代表・行政関係などで構成する委員会を設置し、基本計画で活性化や目標を定める。また平成16年度中に五百石公民館1階の空き室を改造し、町民サロンとして利用したい。

議員 障害者支援費制度になってどうか変わったか。健康福祉課長 更新申請や新規申請に出来る方が多くなつて、障害者の方達が自分達のサービスとして利用したいという意識の高まりを感じている。

### 桑原米蔵議員



#### 緊急の通報は

議員 一人暮らし・高齢者・障害を持った人からの緊急時の通報について、発信地表示システムに出来ないか。

#### 将来的に検討

消防署長 現在の緊急時の対応は専門の業者と契約して消防本部へ連絡するセンター方式である。現在、37名の方が登録されており、平成8年の運用開始から平成14年まで8名、11件の通報があり、救急車等の出動をしている。

現在の装置が平成11年に1554万円で購入したもので、まだ比較的新しいこと、新システムは、広いスペースが必要ことから導入してはいない。これからは、広域的な考えで検討しなければと考えている。



消防署司令室

議員 行財政改革の一環として共同調理場のあり方を問う。教育長 現在5施設ある調理場を統合して1箇所運営する。平成16年度に基本設計を行い、17年度に建設したいと考えている。行財政改革の重要課題の一つでもあり、早く実現させたい。施設の維持管理、職員の効率の運用、光熱水費のコスト削減等に大きな効果が見込める。

### 米田俊信議員



#### アレルギー園児の給食を

議員 アレルギーの持病を持った園児については、代用食で栄養を補う対策がとられているが。

議員 富山外郭環状線に面し、交通量も多く危険で老朽化が進む利田保育所の建設見直しは。町長 利田保育所は建設以来相当経過しており、老朽化が進んでいる。また、交通量も多く、児童の送迎や所外保育の際には充分注意を払い事故が無いようにしている。また、乳児を含む低年齢児の人口増や特別保育などに対する新たな保育ニーズの増加、利田地区造成に伴う人口増等、今後ますます大きく変化が見込まれる地域である。保育所建設計画については、基本的には新川保育所との統合を目指し、早期に関係各位と相談しながら計画を進めたい。



改築が待たれる利田保育所

#### 栄養面で配慮

健康福祉課長 献立は保護者の理解が得られるよう、給食だよりに掲載している。児童の健全な発育に欠かせない保育所給食の重要性は充分認識しており、他の児童と同等の給食を提供し栄養面で劣ることがないように配慮し、町内の公立・私立の保育所ともにおやつを含む給食は、町で統一している。